

令和3年11月8日

本日ここに、令和3年第2回鹿嶋市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにご多用中にもかかわらずご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

災害級とも形容され、猛威を振るった7月からの第5波となる新型コロナウイルス感染症の状況につきましては、国内において一日に新規陽性者が2万人を超える日が続いた8月後半をピークに急激な減少に転じ、現在では、一日に100人から300人弱ほどで推移しております。

本市でも、7月下旬から8月にかけて、一日に最大となる19人の陽性者が確認されるなど、大変憂慮すべき状況にありましたが、9月29日の2名の感染者（累計502人目）を数えて以降、新規の陽性者は出ておらず、現在は落ち着いている状況にあります。

また、茨城県において発出されておりました県独自の非常事態宣言が9月19日に、そして国の緊急事態宣言も9月30日をもって解除となり、茨城県コロナNextの対策Stageは現在Stage1で、感染が抑制されている状態としております。

このような状況を受け、本市では、10月1日から小中学校を通常登校に、また、幼稚園・認定こども園につきましても通常開園としております。同じく各公民館やスポーツセンターなど社会教育施設・体育施設、さらに、総合福祉センター等の各公共施設につきましても、現在は通常の開館となっております。

この新規陽性者数の減少の要因につきましては、諸説ありますが、ワクチン接種率の進展が大きな要因となっていることは間違いのないものと思われまます。本市におきましても、鹿嶋医師会の松倉会長を始め市内医療機関の先生方の強力な支援体制のもと、接種体制を構築し推進してきた結果、10月31日現在、12歳以上の対象者のうち、84.2%の方々が2回目の接種を完了しております。

一方、ワクチン接種が進む中においても、接種後に感染する、いわゆるブレークスルー感染の可能性や、ワクチン接種が進捗している国々において、感染が再拡大

している状況もあることなどから、国内におきましても第6波への警戒が重要であります。

一方、規制の緩和に伴い、Go To キャンペーンの再開等と相まって人流も増加しております。鹿島神宮では、現在、「菊花展」が開催されており、周辺の人出も戻りつつあります。また、市内飲食店等におきましても、休業や時短営業から通常営業する店舗も増加してきており、年末・年始の営業活動が期待されるところであります。市としましては、関係機関と連携しながら、With コロナに対応した各種施策によりまちの活性化を図ってまいります。

市民の皆様には引き続き「マスクの着用」「手洗い」「密の回避」「換気」といった基本的な感染症対策を徹底いただきますとともに、通常の活動を取り戻しつつある飲食店等の事業者の皆さまにおかれましても、各店舗における感染症対策等、これまで同様にご協力をお願いいたします。

ワクチンにつきましては接種から時間が経つにつれ、その効果も薄れることから、国においては、この度、3回目の接種を実施することとしております。

今回の臨時会に上程する補正予算は、この3回目のワクチン接種に係る費用他、先般、国より経済活動に影響を受ける事業者への支援を目的とした「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に係る専決処分の報告についてであります。

#### 《 提出議案説明 》

それでは、提出いたしました議案についてご説明申し上げます。

今回ご審議いただく議案は、予算関係議案が1件、新型コロナウイルス感染症に関連する補正予算の専決処分の報告が1件、の計2件であります。

議案第66号「令和3年度鹿嶋市一般会計補正予算（第7号）について」であります。

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億4,175万6千円を追加し、総額250億5,939万5千円とするものです。

歳入としましては、新型コロナウイルスワクチン接種対策費などによる国庫支出金の増2億3,632万1千円、財政調整基金繰入金による繰入金の増543万5

千円を見込みました。

歳出としましては、個別接種委託料などによる新型コロナウイルスワクチン接種経費 2 億 4, 1 7 5 万 6 千円を計上しました。

また、債務負担行為について、クーポン作成委託料、コールセンター委託料について新たに設定しました。

次に、報告第 7 号「令和 3 年度鹿嶋市一般会計補正予算（第 6 号）について」であります。

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 6, 2 2 5 万円を追加し、総額 2 4 8 億 1, 7 6 3 万 9 千円とする補正予算について、令和 3 年 1 0 月 5 日に専決処分を行ったので、地方自治法第 1 7 9 条第 3 項の規定により、議会の承認を求めます。

歳入としましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、財政調整基金繰入金を計上しました。

歳出につきましては、救急医療対策経費として新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関等支援金や商工業振興事務経費として、市内事業者支援給付金などを計上しました。

以上で予算関係議案の説明を終わりますが、詳細につきましては、お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。